

# 河川管理について

## < 河川管理の現状 >

河川は、洪水等による災害の発生を防止し、かつ適正な利用及び河川環境の保全がされるよう総合的に管理されることが必要であるため、国、都道府県及び市町村が河川管理者として責任をもって整備し、管理しているところ。

## < 民間開放に向けての取組み >

災害対応（危機管理を含む）、行政判断を伴う業務（計画の策定や建設・維持修繕工事の発注等）及び行政権の行使を伴う業務以外の業務（河川工事の調査、設計、工事の施工から維持、修繕に至るまで）については、従前から民間業者へ委託等を行ってきたところ。さらに、地域社会の意向の反映、地域の個性を十分に発揮させる観点から、NPO等多様な主体の河川管理への参画を図っているところである。

### 【NPO等の河川管理への参画】

- ・ 一定区域における自然環境の計画、整備、管理（ビオトープ）
- ・ 地域の共有財産としての川の草刈り・清掃等維持活動（アドプト・プログラム制度）

## 荒川における流域連携活動

～ 河川環境をテーマとした市民団体の自主的取組み～

### 中土手に自然を戻す 市民プロジェクト



単調な河川敷に湿地を復元させようと、市民側で整備案や活動計画、運営方法を提案、実行した事例。

### 荒川クリーンエイド

(毎年約6000人参加)



荒川に関わる人たちが各々の立場で協力し、取組む環境保全活動で、秋に一斉のゴミ合いを実施。

### 河川管理者のかかわり

- ・「荒川自然懇談会」を設置し市民団体との情報交換を定期的実施。
- ・市民団体の活動に必要な資材の提供などを行う

## アドプト・プログラム制度 (河川アドプト制度)

市民団体、NPO等が行政と協定を結び、一定区間の河川敷等において、清掃や草刈り、美化活動等の活動を行うものである。

### 【具体事例】

- ・旭川 (岡山県)
- ・白川 (熊本県)
- ・吉野川 (徳島県)



市民団体等と連携した河川清掃状況 (旭川 (岡山県))

### アドプト・プログラムとは？

1985年アメリカ・テキサス州における散乱ゴミ対策の新しい取り組みとして「アドプト・ハイウェイ・プログラム」がスタートしました。このユニークな取り組みは、生活空間を快適にしたいという住民たちの間で広く普及し、瞬く間に全米48州に広がりました。アドプト (adopt) とは、英語で「養子にする」という意味。つまり、「道」と「住民」を養子縁組し、その里親 (住民) として一定区間の道路 (里子) を大切に守り育てる (清掃) ということなのです。その河川版が河川アドプト・プログラムです。

# 河川占用制度について

## < 河川占用制度の現状 >

河川敷地は、本来治水上の観点から必要なものであり、河川区域内の土地を占有する場合には、河川法第24条により河川管理者の許可を受けなければならないこととされている。

占有主体については、河川敷地占有許可準則により、原則的に公共性又は公益性を有する者に限定されているが、具体の対象については社会、国民のニーズの変化に対して適宜改定してきたところ。

## < 民間開放に向けての取組み >

河川の治水や利水、環境に支障のない範囲で、その時々地域や社会のニーズに対応し、河川空間の民間開放を推進。

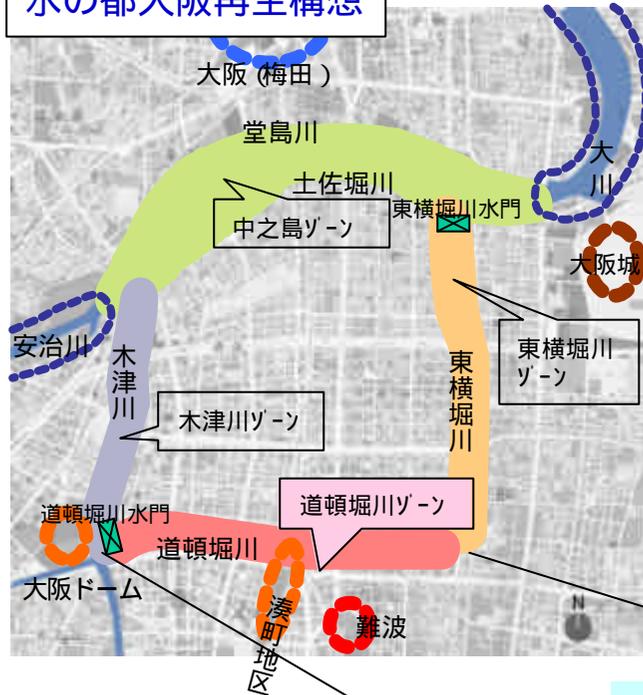
### < 近年における民間開放の推進事例 >

現在、道頓堀川及び太田川等の都市再生プロジェクト区域内において、当面社会実験として、試行的に以下による河川敷地利用を認める方針。今後、その他の区域においても同様の要望があれば社会実験として積極的に取り組んでいきたい。

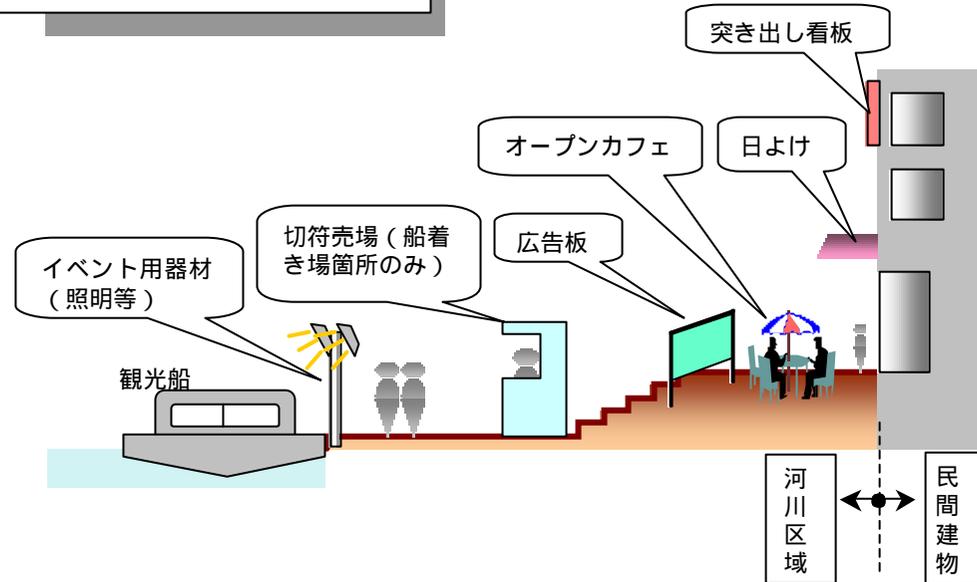
- ・ 広場、イベント施設（一体をなすオープンカフェ、照明・音響施設を含む）
- ・ 日よけ、船上食事施設、突出看板等の都市再生のために利用する施設
- ・ 公共的な水上交通のための船着場等の施設と一体をなす切符売場、案内所等

# 都市再生プログラムの実施地区と実施内容 (大阪市)

## 水の都大阪再生構想



## 道頓堀川での河川空間利用の一例



戎橋から見た空間利用イメージ (イベント時)



## 道頓堀川水辺整備事業

# 都市再生プログラムの 実施地区と実施内容 (広島市)



## 1)オープンカフェ通り

実施場所 左図 の区域  
実施内容 河岸緑地にカフェや売店等を設け、にぎわいのある水辺を創出する。

## 2)水辺のステージ

実施場所 左図 の区域  
実施内容 高水敷にステージを設置しコンサート等に使用するとともに、ステージ周辺でカフェ等を設け、市民の憩いの空間を創出する。

## 3)船上レストラン

実施場所 左図 の区域  
実施内容 栈橋に係留した船の上でレストランやカフェ等を営業し、水辺における都市の楽しみ方を創出する。



水辺のステージ



京橋川オープンカフェ利用イメージ

イベント「水の都ひろしまデルタライブ」  
(平成15年3月21～23日)